



## クエスト・ユーザーグループニュース Vol.41 2018年7月号

このたびの西日本の豪雨災害により、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。現在製品発送において、地域によりご提供ができない状況、またはお届けが遅れる場合がございます。お客様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解を承りますようお願い申し上げます。配送状況について詳しくは、クエストグループ・ジャパンサポートセンター（0120-676-601）までお問い合わせください。

### << 7月31日まで！「健康向上プラスセット」キャンペーン >>

気温の高い日が続いています。

食事ですっかり栄養を取ることが大事とわかっていても暑さや忙しさで手軽なものになってしまう・・・というときもありますね。

元気に夏を過ごすためにも「健康向上プラスセット」で大切な体に栄養補強をしてあげませんか？

7月31日まで通常価格より15ドル（約1500円）オフ、さらに今だけドクター・ギブソンのスーパーデトックスマニュアル（電子版 ※ご自身でダウンロードしていただく必要があります）をプレゼント！



「健康向上プラスセット」商品番号：3087P 価格：155ドル  
 キャンペーン特典：ドクター・ギブソンのスーパーデトックスマニュアル（電子版）

#### ●健康向上プラスセット内容●

##### ネオパック\*\*\*

74種類のミネラルと14種類のビタミンが入った体調回復のための基本となるサプリメントです。

##### ネオクレンズ\*\*\*

体内に溜まった重金属を排出するお手伝いをしてくれる強い味方。

##### ネオセルプラス\*\*\*

暑くてやる気が出ないとき、ストレスによるダメージにも。

### <健康向上プラスセット摂取量の目安>

#### ★ネオパック★

大人は1日1袋（7粒入）を食後に2-3回に分けてお飲み下さい。3食に分けて飲むとき、または2-3日に分けて飲むときは、同時に白い粒1つと黄色い粒を1つ飲むなど、バランスを考えてお飲み下さい。また、夕食後にまとめて1袋（7粒）飲むと、翌朝お通じがあるという方もいますので便秘気味のときなどお試し下さい。お子様の場合は、体重20kgあたり1日に白い粒、黄色い粒を1つずつを目安として飲まれると良いでしょう。

#### ★ネオセルプラス★

17歳以上：1日4-5カプセル 12~17歳：1日3カプセル 6~12歳以下：1日2カプセル

6歳以下：1日1カプセル

1日分の量を2回に分けて、朝夕で食べ物と一緒に摂取していただくにより効果的です。

#### ★ネオクレンズ★

1日1-3カプセル。お子様は体重10~20Kgあたり1カプセルを目安。空腹時がおすすめですが、食べ物や飲み物と一緒に摂ってもよいです。

※90日間の解毒プロトコルはこちら→ <http://www.neocleanse.net/jp/#protocol>

## 健康向上プラスセットQ&A



### Q1)どんな人におすすめですか？

A1)お子様からシニアの方までの幅広い世代の方におすすめします。

ネオパックは日々の健康維持や体調回復のための基本となる栄養素が手軽に摂れるサプリメントです。

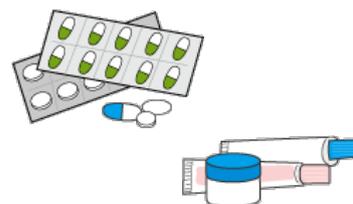
ネオクレンズは、抗酸化力を強化し、免疫力を高めながら自然の解毒プロセスを促し、蓄積された重金属や放射性物質等の毒素を排出する目的で作られた製品です。私たちは日々何千もの毒素や化学物質にさらされており、空気や食べ物、水、また薬物などを通して体内に知らず知らずのうちに多くの毒素が取り込まれています。深刻な健康問題を引き起こす前に、体に溜まった有害物質を取り除きましょう。

ネオセルプラスは脳に重要な栄養素が含まれていて、脳を健康にし、脳の機能を高めてくれます。ストレス、疲労、うつや不安、気分の落ち込み、慢性痛、睡眠障害、記憶力低下、ADHD(注意欠陥・多動性障害)などの問題の改善が期待できます。開発したギブソン医師によると、ネオセルプラスを長期的に摂取することで、アルツハイマー、パーキンソン、MS(多発性硬化症)などが予防できるそうです。

### Q2) 摂取中の注意事項はありますか？

A2) 薬を服用中の方は、かかりつけの医師や薬剤師に確認してください。ネオクレンズについては、抗凝血剤（ワーファリンなど）との併用ができないためご注意ください。またピルの併用は好転反応により、経血量が増えるなど女性特有のトラブルに似た症状がでることもあるため、薬の評価ができなくなるのでおすすめしていません。長期間薬を使用中の（使用していた）方、多種類の薬を使用中の（使用していた）方などはネオクレンズをまず1カプセルから様子を見ながら始め、低用量（1日1-2カプセル）で継続するなどゆっくりと取り組むことが大切です。

## <サプリメントアドバイザーエッセイ>



### ～ クスリと体の痛み ～

内科、精神科のクリニックを開業している医師の内海聡さんという方がいます。たくさんのお本を出していますが、クスリに興味のある方は特に関連するものをお読みになると良いと思います。

もう5年くらい前になると思いますが、この方の講演会に参加して以前から気になっていた、うつ、睡眠障害のためのクスリ（向精神薬と総称します）と体の痛みについて質問したことがあります。すると、やはりそうした向精神薬を摂っていると、体の痛みを訴える人は多い、ということでした。

また東京の内海さんのクリニックなどで向精神薬の断薬をした方3名の女性のお話を聞く会にも参加しましたが、このときも質問できたので体験を聞いたところ、肩がものすごく痛かった、とか、あちこち痛くて、どこがどうか、何が何だか分からないくらいだった、等のお返事を頂きました。痛みと向精神薬にはやはりつながりがあるようです。

こうした「クスリを使うことによって出てくる痛み」があることを最初に教えてくれたのは、私どもが出している『アトピーと向き合う』の最後に文章を寄せてくれた非常勤のスタッフからでした。彼女はアトピーの患者グループに参加していたので多くの例を知っていますが、重度のアトピー（ステロイド外用薬の後遺症と呼ぶべきかもしれません）になると、当然のように体の痛みやこわばりがあるということでした。皮膚に塗るクスリで痛み？と最初は信じられませんでした。

私はクエスト社でお客様のご相談を受け始めて15年以上になりますが「リウマチ」という方からの相談を良く伺うと、ステロイド外用薬を塗っていた、喘息で吸引していた、長く痛み止めを使っていた、そして上記のように向精神薬を使っていた、という方が一定割合以上いるということに気がつきました。そのために、内海医師の講演会にも参加したのですが、近年向精神薬を使った方の割合がどんどん増えています。

「薬を摂ることは、体に借金すること」と言った方がいます。

「この時期だけ」を乗り切るために、薬を使うのは仕方がない場合もあります。しかし使ったら、実社会と同じでその「借金」は残るので後で利息を付けて返さなければなりません。痛み止めを使ったら、その後、以前の痛みの倍の痛みが来ても耐えて乗りこえる、皮膚の湿疹をステロイドで押さえたら、倍のかゆみや痛みを耐えて毒だしをする必要、睡眠薬を使ったら、後で眠れない時期や体の痛みが出るかもしれない、等、必ず何か「利息」がつきます。でもそれをまたクスリで抑えて借金を重ねると、後年大げさではなく人生をかけて返さなければならぬほどの借金に直面する人も出てきます。

テレビでは、「痛みって簡単に抑えられるんだ」「かゆみってすぐ止められるんだ」と思わせるような、そのときだけを乗りこえれば良いと考えそうになるコマーシャルがありますが、本人が気付かないだけで体には着実に蓄積していきます。

『アトピーと向き合う』をまだお読みになっていない方はぜひご請求ください。

([www.questuser.jp](http://www.questuser.jp))

日々私たちは色々なことを感じて生きています。

眠い、おなかが空いた、疲れた、だるい、かゆい、眠い、痛い、臭い、寒い、暑い、等様々な感覚があります。改めて考えてみると、こうした感覚は何のために備わっているものでしょうか。

人間が生きるために、生命を維持するために必要な感覚だから今も備わっているのではないのでしょうか。最近は小中学生でも頭痛薬、女子なら生理痛薬などという例も聞きますが、もしお子さんたちが痛みを感じたら、クスリで抑えつけるのではなく、体の声を聞いて根本的な原因を取り除くことにご家族で取り組んでください。

余談ですが、内海さんのクリニックに行ったとき、向精神薬の断薬をした方の短い体験談が壁に張ってありましたが、そこには、「色んなことが起きるが、とにかく我慢、根性で乗り切るしかない」というような意味の言葉が多く見られました。

精神面では、こうしたクスリに頼る前に、私たちにはネオセルプラスのようなサプリメントがありますので、基本の栄養補強に足してうまく利用して頂ければ幸いです。



### クエスト商品☆体験談募集中！！

あなたの体験談を募集しています。形式、字数は問いません。掲載させていただいた方に、50ショッピングポイント（約5,500円相当！）を進呈いたします。

[info@questuser.jp](mailto:info@questuser.jp) までお送りください♪

## ユーザーグループオリジナル小冊子のダウンロード版を会員様に限り、無料進呈中！

クエスト会員様に限り無料で、ユーザーグループオリジナル小冊子「アトピーと向き合う」、「リウマチ/膠原病と向き合う」のダウンロード版をお読みいただけます。

☆ご希望の方にはリンクをお送りしますので、ユーザーグループメール：[info@questuser.jp](mailto:info@questuser.jp) または、電話：03-3969-9070までご連絡ください。なお、ユーザーグループのHP (<http://www.questuser.jp>) からもお申し込みいただけます。

**(1冊子につき、お1人様1回限り無料でご利用いただけます。2回目以降の請求は有料となりますのでご注意ください)**

☆冊子版(500円/手数料・送料込)につきましては、現在、「アトピーと向き合う」のみでございます。

ご希望の方はユーザーグループのHP (<http://www.questuser.jp>) からお申し込みください。



### ①『アトピーと向き合う～脱ステ・脱プロ・自然療法～』(全64ページ/画像集あり)

ステロイド外用薬を約15年、免疫抑制剤を約3年使ってきた著者が、自然療法でアトピーを克服してきた記録。アトピーに限らず、体の不調を克服したいと思うすべての人に読んでもらいたい1冊です。

\*巻末には、24年間ステロイドを使用し内臓障害を併発しながらもアトピーを完治させたユーザーグループのアドバイザーによる、自然療法を始める前に、心理的、社会的に準備しておくべき要点を6ページにわたりまとめました。

#### 『アトピーと向き合う～脱ステ・脱プロ・自然療法～』目次

はじめに	2
01アトピー経歴	5
02薬を断ったきっかけ	8
03脱ステ後の治療①～通院していた頃～	9
04脱ステ後の治療②～「治してもらおう」という意識を捨てる～	12
05脱ステ前に試みたこと～体の中をキレイに～	13
06好転反応という考え方に合う	15
07栄養補強に出会う	17
08好転反応の嵐を乗り越える	19
09腸クレンジング～傷がない柔らかい肌～	27
10重金属の解毒①	29
11重金属の解毒②	33
12ヒールとメンドによる解毒	39
13二度目の腸クレンジング、ヒールとメンド&近況	50
14アトピーについて思うこと	52
15アレルギーマーチってご存知ですか?	54
おわりに	55
自然療法で完治を目指す前に サポートスタッフより	56
編集後記 クエスト・ユーザーグループ	62

画像集 I  
p.23～

画像集 II  
p.35～



### ②『リウマチ/膠原病と向き合う』(全82ページ)

リウマチ/膠原病からの回復を目指して、自然療法に取り組んでいる方向けのガイドブックです。

リウマチ/膠原病を解決しようとクエスト社の製品を使い始める方は大変多くいらっしゃいます。健康問題を解決するには、病気についてきちんと理解し、どのように生活を見直していったら良いのかを知ることが大切です。体に良いとされていることが、リウマチ/膠原病の方には無理がある場合もあります。また、回復過程に、さまざまな体調の変化が訪れます。回復のためには、そうした変化を好転反応として、きちんととらえ、自分の体調と向き合い「治してもらおう」という考え方から離れ、自分の心とも向き合う必要があります。そのためのヒントをまとめました。ご家族の方にも読んでいただきたい一冊です。

\*巻末の体験談集IIでは、多くのリウマチ/膠原病から卒業した方の例の中から、2人の方の回復過程を詳しくご紹介した未発表の体験談も掲載しています。回復途上の皆様のご参考にしていただければ幸いです。

『リウマチ／膠原病と向き合う』目次

1 リウマチ／膠原病とは？・・・7  
 2 検査について・・・10  
     <検査数値の見方>  
 3 リウマチ／膠原病の治療・・・12  
 4 食事を見直す・・・14  
     <食事の注意点>  
 5 生活習慣を見直す・・・19  
 6 好転反応の乗り越え方・・・25  
     ◆痛みへの対処の仕方  
 7 サプリメントによる栄養補強  
     ～お勧めのサプリメントと飲み方・・・30  
 8 リウマチ／膠原病を治そう  
     ～完治のために・・・34  
     ◆薬を止める時期の注意点  
     ◆リウマチ／膠原病患者の家族の方へ  
 9 モチベーション維持のコツ・・・38  
 10 治る人、治らないはここが違う・・・41  
     <治る人>  
     <治らない人>  
 11 健康を維持する／さらなる健康を手に入れる・・・42  
 体験談集Ⅰ・・・44  
     自然療法のみで回復した方たち  
     薬+自然療法で回復した方たち  
     参考体験談：繊維筋痛症のような症状から解放されました  
 体験談Ⅱ・・・53  
     10年間のステロイド注射から卒業しました  
     リウマチ症状、強膜炎、シェーングレン症候群からの回復  
     薬を併用しながらリウマチを卒業しました

薬剤師健康コラム

薬剤師専門相談の例・・・11  
 痛みと鎮痛剤のおはなし・・・23  
 季節ごとのアドバイス・・・43

コラム

ステロイド外用薬と痛み・・・11  
 断食療法について・・・16  
 現代型栄養失調について・・・17  
 腸内環境と免疫力・・・18  
 自分の治癒力を信じる・・・26  
 腹式呼吸法と丹田式呼吸法について・・・28  
 家事との関係・・・34  
 生活の工夫・・・35  
 妊娠と出産・・・36  
 子育てと治療・・・36  
 関節の変形・・・37

Q&A

冷え取りはいつまで行えばよいのでしょうか？私は冷えてないと思うのですが好転反応と悪化の区別がつきません  
 早く治したいのですが、サプリメントや水はたくさん飲んだ方が効果的ですか？  
 免疫力を上げるサプリメントはリウマチを悪化させ、クスの効果を減らしませんか？  
 治った後もサプリメントを飲まなければいけませんか？  
 どうしても早く症状を取り去りたい  
 関節の変形が怖くて不安が大きい  
 薬は絶対止めた方がよいですか？

<クエスト・ユーザーグループからのお知らせ>

☆ユーザーグループでは、お勧めのサプリメントやサプリメントの効果的な飲み方、好転反応の乗り越え方、ご予算に応じたサプリメントのご提案・・・など、電話、またはメールにて相談を承っております。また、様々な健康問題を抱えている方のために、電話での専門相談（予約制／無料）もお受けしています。安心してクエスト製品をお使いいただくためにも、お気軽にご利用下さい。

～無料電話相談のご案内（予約制）～

<予約方法>メールか電話にてご予約ください。

☆薬剤師相談☆（いずれも10時、11時、12時）

7月：25日      8月：6日、8日、28日

☆リウマチ卒業生による相談☆（いずれも13時、14時、15時）

リウマチから卒業したスタッフによる相談を行っております。脱薬時の不安など経験者だからわかることをお話いただけます

（※初めて予約する方は、事前に健康チェックの提出をお願いしています）

7月：26日      8月：3日、8日、23日、29日

<<夏季休業のお知らせ>>

◎夏季休業期間8月11日(土)～8月19日(日)

休業期間中もメールのお問い合わせのみ、通常よりもお返事にお時間を頂きますが、受け付けております。また留守番電話に頂いたお問い合わせの回答は20日以降に順次折り返しご連絡させて頂く予定です。ご不便をおかけしますが、何卒ご了承ください。

★留守番電話対応について★

ユーザーグループの電話相談時間は、現在のところ平日10時～16時のため、仕事などでご相談できないという方やメールを書く時間がないという方のために、受付時間帯以外は、留守番電話でご用件を承っております。代表電話番号03-3969-9070に電話を頂きますと、英語のメッセージが流れますので、その後、会員番号、お名前、ご相談内容をはっきりとお伝えください。そして最後に、こちらからお返事するのにご都合の良い方法（電話、メールなど）をお知らせください。

<クエスト・ユーザーグループ>®

●WEBサイト：<http://www.questuser.jp>®

●ユーザーグループ・ブログ ®  
<http://d.hatena.ne.jp/questuser/>